

師走

2025. 12. 9

気づけば、12月になっていた。師走である。月の異名、別な呼び方の中でも、最も一般化しているものであろう。他には、3月の弥生、10月の神無月だろうか。

師走になると、どうしても今年一年を振り返りたくなる。この場合の一年とは、1月から12月のことである。だが、仕事上では4月からがスタートになっている。年度である。年度では、まだ1年は終わらない。ここらへんが、どうもややこしい。

今年も刺激と変化を求めた一年だった。今年「も」である。今年「は」ではない。常に、刺激と変化を求めている。そういうタイプ、体質なのであろう。自ら刺激と変化に飛び込むこともある。だが、ここ数年は、流れに身を任せるというか、頼まれたことやオーダーされたことをやることで、結果的に刺激と変化を獲得できている。

頼まれごとは、今までの自分の人生、生き方、経歴などが元になっているはずである。ということとは、これまでの経験を生かすことができているということになる。これは、非常にありがたいことである。

その一方で、いつも、何か新しいことはできないかと考えている。自分から刺激と変化に飛び込むのである。これが簡単ではない。できれば、数年は続けられるものがよい。自分ではよくわかっている。三日坊主の体質である。とりあえず始めてみる。2日か3日で終わる。こうなることがわかっているため、始めることさえしなくなっている。もはや、自分に対する諦めである。

ところが、なぜか続いているものがある。文章を書くことである。この前、主任の先生に言われた。「園長先生は、人のためになることを続けているのではないですか」なるほど。そうなのかもしれない。よく考えると、三日坊主で終わってしまうのは、自分のことばかりである。相手は関係ない。人のためにはならない。そう考えると、文章を書くとはいっても、日記であれば、間違いなく三日坊主である。もう何年も書いている文章は、ホームページやブログにアップし、読んでくれる人がいるから続いているのかもしれない。

ということは、人のためになることで新しいことを始めればよいということになる。それは何だろうか。今のところ、わからない。この師走は、このことを考える月にしよう。これが、年が明け新たな年の抱負や目標となる。そして、刺激と変化を手に入れることにつながる。

今年一年、無事に過ごすことができたことに感謝しつつ、新たな刺激と変化を求める師走を大切な時間としたい。